

若手社員(3~5年次)フォロー研修会 (土木系技術者向け)

社団法人
東京建設業協会
東京土木施工
管理技士会

入社3~5年を経過し、現場にも慣れて、自身の現場管理や工事運営のスタンスも確立されつつあることと思います。しかしながら、現場管理に終わりはなく、日々の問題発見とその解決のための改善努力が、管理能力の向上につながります。

この研修会では、3~5年次を迎えた技術者に求められる能力を、「品質」「原価」「工程」「安全」の4つの面を中心に講義いたします。※基本的に昨年開催した研修内容と同じです。

開催日時

平成22年10月21日(木) 9時30分~16時30分 (9時より受付)

対象

入社3~5年目を迎えた若手土木技術者。
元請で、管理・監督業務を行われている方が対象です。

テーマ

1. 現場所長が期待する3年生の4要素(品質、原価、工程、安全)

- ① いいものをつくろう(顧客の要求を満足、自慢できる仕事)
 - 施工計画書が作成できますか?(例→仮設、土工、型枠、鉄筋、支保工、他)
 - 設計図書、特記、標準仕様書を熟知して管理していますか?
 - 顧客、協力会社から信頼される土木技術者
 - 職人にダメなものはダメと言い切れますか?(安易に妥協していないか)
 - 発注者の求める施工プロセスチェック(工事成績評定ポイントアップ要素)
- ② 利益を出してこそ社会に認められる(法人税は利益の40%)
 - 机上のミスは消しゴムで消せるが、現場の失敗は〇〇で消す
 - 自分の歩掛りを持つ
 - 作業所におけるコストダウン
 - あなたも出来る作業所の利益アップ貢献
- ③ 仕事には必ず納期がある(決められた日に、決められた物を納める)
 - 実施工程表作成のポイント及び工程管理(各工種毎の作業日数の求め方)
 - ここでも役立つ自分の歩掛り
- ④ 事故を起こせばすべての努力は水の泡(事故による会社の損失)
 - 現場における安全管理・指導の実践(目→脳→口)
 - 見て、見ない振りをしていませんか?
 - 安全管理に妥協は無い(安衛法、安衛規則、他規則を守れば事故は半減する)
(安衛規則足場等の改正について)

2. まとめ

受講上の注意事項

シャープペンシル又は製図用鉛筆、赤ペン、電卓をご持参ください。

講師

岩下正美氏(首都高技術株式会社 施工管理部施工管理室 安全管理技術者【労働安全コンサルタント】)

受講料

- 東京建設業協会・東京土木施工管理技士会会員：無料
- 会員外：1万円(税込み・当日受付にてお支払いください)

定員・申込方法

- ・定員40名
- ・申込用紙に記入の上、FAX(03-3555-2170)にてお申込みください。
- ・申込み受付後、受付番号を記入し、折り返しFAXにて返信いたします。
- ・定員の都合などで、受け付けられない場合は、その旨ご連絡いたします。

問合せ先

社団法人 東京建設業協会 講習会係(電話 03-3552-5656 FAX 03-3555-2170)
〒104-0032 中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館5階
当協会の各種研修会は、ホームページ(<http://www.token.or.jp>)にてご案内しております。